

今年も伊勢原小学校の校庭で待ってるよ！
楽しくみんなであそんじゃおう！！

みんなで楽しい
子ども会のどうかんまつり



令和7年度
子ども会

どうかんキッズランド

いせはら

10月5日(日) 10時から14時まで

※雨天・荒天時は中止もしくは、縮小開催になる場合があります

私たちはいつも、子ども会活動は「子どもたちが自ら活動し経験することができる場」であって欲しいと考えています。

昨年の道灌まつりで「来年はもっと企画や事前準備からやりたい！」という、うれしいリクエストを実現しようと、今年も子どもたちによる「道灌まつり企画会議」を行いました。なんと！事前に校長先生にかけあって、校内放送で「企画募集」を行い、「子どもたちはどんなことをやりたいのか」のアンケート結果をまとめてくれた子どもたちもいました。子どもたちの発想力と行動力にはいつも驚かされ、感心させられます。

今回残念ながら会議で出たすべてのアイデアは実施できませんが、企画会議の中で、話し合いを重ねたり一緒に作業を進める中で、お互いの意見を聞いたり自分の意見を伝えたりしながら、着々と楽しい企画準備を進めてきました。

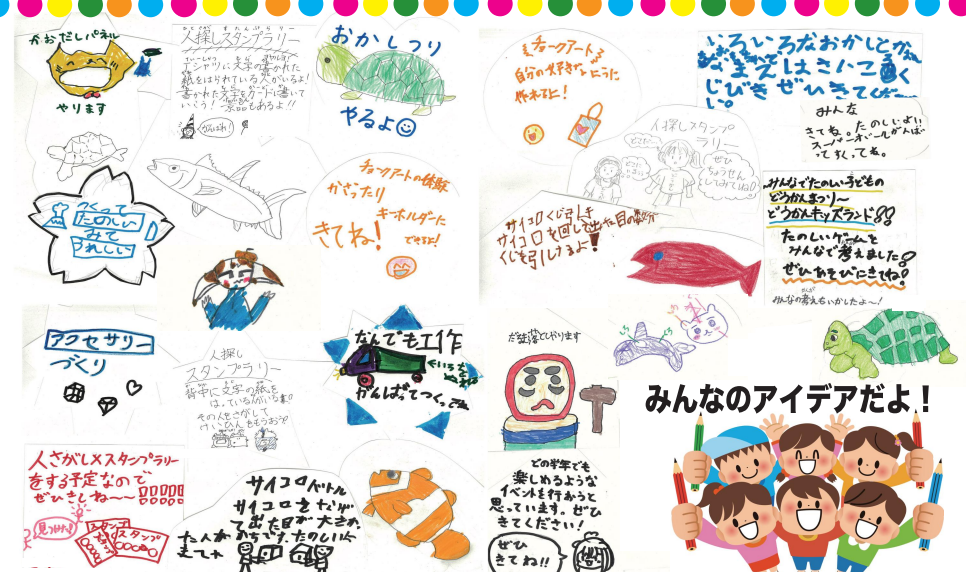
大人から与えられた内容ではなく、子どもたちが自ら課題や目標を見つけ、達成するために考えながら行動する「主体性のある経験」は、将来社会人として仕事や日常生活において、非常に重要な能力を育てます。ここでの経験が何ものにも変えられない糧となり、子どもたちの記憶に楽しい思い出としていつまでも残るように、私たち役員も全力でサポートしていきたいと思えます。

子どもたちの「どうかんキッズランド」に、ぜひ遊びにきてください！

市子連会長 磯部

サイコロバトル
おかし釣り
スーパーボール
おかしやさん
ジュースやさん
・・・など
(有料となります)

だるま落とし
ダンボールのお城
トーテムポール
キラキラわなげ
クイズラリー
顔出しパネル
玉コロガシ◎プロジェクト
・・・など
(無料で遊べます)



子ども会のこと一緒に考えよう★
【編集後記】 困っていること、悩んでいること、こんなこと考えた等、いろいろな意見をお寄せください。ホームページも活用してください。メッセージを出し合い一緒に考えていきましょう。こども若者支援課のメールアドレス seisyounen@isehara-city.jp QRコードはここ→→
子ども会への入会希望・ご質問・お問い合わせは、各単位子ども会・地区子ども会または、こども若者支援課までお問い合わせください。
伊勢原市子ども会育成会連絡協議会 事務局 伊勢原市こどもみらい部こども若者支援課 伊勢原市役所こどもみらいプラザ TEL:0463-94-4647



令和7年度(令和7年9月)秋の広報紙 特別号
発行：伊勢原市子ども会育成会連絡協議会(市子連)



「ぼくたちわたしたちの防災マップ」を作ろう！



市子連では、定期的に各地区の子どもの育成会役員を対象にした研修会を開催しています。

7月12日(土)夏の指導者研修会では、講師として伊勢原市危機管理課にご協力をいただき、防災マップ作りをテーマにした研修を行いました。炎天下での探索になるため、車を利用してルートを片道にしたり、水分補給できるポイントになる木陰などを事前に確認したり、参加者の負担に配慮しながら行いました。

災害時には携帯電話が使えなくなることがあるため、公衆電話の場所を把握しておくことは大切であること、地震の時はガラスが割れたりブロック塀が倒れる可能性があることなどを教わり、地震や風水害を想定したハザードマップも確認しながら、実際に子どもたちと歩くことで、たくさん学ぶことができました。

災害はいつどのような天候でおきるかわかりません。ハザードマップに記載された情報だけではなく、風雨や地震などの災害の種類、季節などを考えて避難用品を準備したり、避難場所や避難経路などを柔軟に選択したりすることが、命を守ることに繋がります。

ぜひ、お家や学校の周りなどを一緒に探索して「ぼくたちわたしたちの防災マップ」作りにチャレンジしましょう。



「子どもたちの生きる力を育てる」

講師の方から災害時の避難のポイント等の講義を受けた後に、丸山城址公園から市役所までを探索し、最後は市役所に戻って、大きな白地図に皆で危険個所にシールを貼り防災マップが完成しました。出発前に講義を受けたおかげで、子どもたちは歩きながら災害時に役立つポイントを、自ら探し出すことができました。「自分の命を自分で守る」という意識を高め「生きる力を育てる」良い機会でした。今後の子ども会活動のヒントになればと思います。

伊勢原地区 山田



講師からのメッセージ
当日、講師を務めさせていただきました。自分の住んでいるまちにどのような災害リスクがあるのか、楽しみながら学んでもらえました。子どもたちの学びが、ご家族や友人に波及していくことを願っています。 危機管理課 石井



「子ども目線での危険」を知る

参加した子どもたちは、最初不安そうでしたがスライドショーで企画の説明を聞いてくうちに、ワクワクに変わっていききました。実際に歩いて普段見ることができない防災倉庫等を見て、みんな目が輝いていました。

歩いた距離はそんなに長くはありませんでしたが、危険箇所や安全な場所などは、分かっているつもりでも「確認しておかなければ意味が無い」ことを実感し、子どもたちと一緒に歩くことで「子ども目線の危険」に気付かされ、自分自身も勉強になりました。

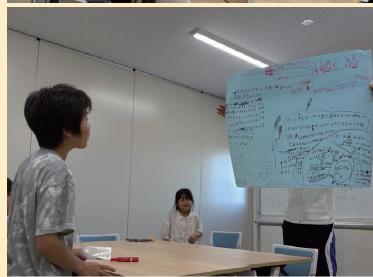
研修会後も外にでる度に、子どもたちが「あそこにブロック塀がある、自販機もある」と言うのを見て、意味のある研修会に参加できたことが大変良かったと思います。 大田地区 畠山



子どもたちによる「道灌まつり企画会議」



7月13日(日)「子どもたちによる道灌まつり企画会議」を行いました。みんなでやりたいことを自由に話し合うことからスタートし、上手く話し合いが進むか心配でしたが「お菓子作りがしたい」「工作がしたい」「じゃんけん勝負がしたい」など、どんどんたくさんの楽しい意見が出ました。「予算についても考えないと」と、意見が出た時は、感心してしまいました。今後の事前準備も、子どもたちと進めていき、今年の道灌まつりでも楽しい時間が過ごせそうで楽しみです。 成瀬地区 小澤



集まってくれたのは中学生から小学生の22人。事前のアイスブレイクから積極的に元気いっぱいの笑顔に圧倒されました。道灌まつりでの子どもたちの出し物では、事前にアンケートで友だちの意見をまとめてきたり、勢いよく自分の意見を述べたり、こどもまんなかのイベントで発想豊かに意見を出し合い、あっという間にテーマまで決めることができました。今年も楽しい、にぎやかなこどもまんなかの道灌まつりが想像できました。 石田地区 八島



織姫と彦星が会える七夕

今年も6月30日から7月6日まで、市役所1階エントランスに七夕飾りを設置しました。子どもたちから寄せられた短冊は各子ども会から70枚、期間中に窓口で記載された方110枚の計180枚集まりました。

私も短冊に願いを込めました。この一年がみんなにとって素晴らしいものになりますように! みんなの願いが叶いますように! 米の値段が下がりますように!!! ... そんな現実的な願いごとしか書かない私を見ていた、息子の短冊の願いごとは「長生きできますように!!」でした。「息子よ、もっと子どもらしい短冊にしてくれ!!」と思った、今年の七夕でした。 大山地区 遠田



千羽鶴～みんなで鶴を折ってみませんか～

市子連では、年間を通じて折り鶴を集めています。今年もたくさんの子どもの会で作成いただき、千羽鶴を作成しています。この折り鶴には、世界平和や子どもたちの健やかな成長、地域の安全・安心な暮らしを願う以外にも「伊勢原市の子ども会をつなげよう」という目的があります。集まった折り鶴は、「伊勢原市平和を祈念するパネル展」で展示した後、広島平和記念公園「原爆の子の像」に奉納します。

《千羽鶴の作り方》

- ・15cm×15cmの折り紙で鶴を作成(色は黒・金・銀以外)
- ・つないでいただける場合は、25羽で1連としてください。(後でまとめますので糸は長めに)
- ・バラバラで持ってきていただいてもOKです。

※千羽鶴用の折り紙を希望する子ども会は、伊勢原市役所こどもみらいプラザこども若者支援課へお越しください。(事前に電話やメールをいただくと、スムーズにお渡しできます)

